

パブロンエースPRO錠

◆パブロンエースPro錠は、イブプロフェン、L-カルボシステイン、アンブロキシール塩酸塩など7種類の有効成分を配合し、のどの痛み、せき、鼻みず、発熱など11のかぜの諸症状に効果をあらわすかぜ薬です。

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に水又はぬるま湯で服用してください。

15才以上、1回3錠、1日3回

15才未満、服用しないこと

定められた用法・用量を厳守してください。

錠剤の取り出し方

・図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

・（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります）

成分及び分量

3錠中

イブプロフェン 200mg

L-カルボシステイン 250mg

アンブロキシール塩酸塩 15mg

ジヒドロコデインリン酸塩 8mg

dl-メチルエフェドリン塩酸塩 20mg

クロルフェニラミンマレイン酸塩 2.5mg

リボフラビン 4mg

添加物

セルロース、無水ケイ酸、乳糖、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、デンプン、グリコール酸Na、タルク

成分及び分量に関連する注意

本剤の服用により、尿が黄色になることがありますが、これは本剤中のビタミンB2によるもので、ご心配ありません

使用上の注意

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

次の人は服用しないでください

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

15才未満の小児。

出産予定日12週以内の妊婦

医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人

胃・十二指腸潰瘍

血液の病気

肝臓病

腎臓病

心臓病

高血圧

ジドブジン（レトロビル等）を投与中の人

本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

●服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）

授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

動物試験で乳汁中への移行が認められています

服用前後は飲酒しないでください

●5日間を超えて服用しないこと

相談すること

●次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

医師又は歯科医師の治療を受けている人。

妊婦又は妊娠していると思われる人。

高齢者。

薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

次の症状のある人。

高熱

排尿困難

次の診断を受けた人又はその病気にかかったことがある人

胃・十二指腸潰瘍

血液の病気

肝臓病

腎臓病

心臓病

高血圧

気管支ぜんそく

混合性結合組織病

全身性エリテマトーデス

潰瘍性大腸炎

クローン病

甲状腺機能障害

糖尿病

緑内障

呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

皮膚：発疹・発赤、かゆみ、浮腫、青あざができる

●服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便

胃・腹部膨満感

精神神経系：めまい、しびれ感、不眠、気分がふさぐ

循環器：動悸

呼吸器：

息切れ

泌尿器：

排尿困難

その他：目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中・脇の痛み、過度の体温低下、からだがかたくなる

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

ショック（アナフィラキシー）：服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

血液障害：青あざができやすい、突然の高熱、さむけ、のどの痛み、出血しやすい（歯ぐきの出血、鼻血等）、血が止まりにくい等があらわれる

消化器障害：便が黒くなる、吐血、血便、粘血便（血液・粘液・膿の混じった軟便）等があらわれる

皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症：高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。

肝機能障害：発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

腎障害：発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

無菌性髄膜炎：首すじのつばりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）

間質性肺炎：階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

ぜんそく：息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

再生不良性貧血：青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。

無顆粒球症：突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

呼吸抑制：息切れ、息苦しさ等があらわれる

●服用後、次の症状があらわれることがあるため、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

便秘、眠気

口のかわき

●5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

特に熱が3日以上続いたり、又は熱が反復したりするとき

保管及び取扱い上の注意

直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

小児の手のとどかない所に保管してください。

他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）

使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は6か月以内に服用してください。（品質保持のため）

【OTC医薬品の多言語製品情報提供時に関する免責事項】

- ・本製品は、日本国内での販売及び使用を目的として、日本の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき承認された医薬品です。
- ・多言語製品情報は、当該製品の日本語の添付文書を翻訳したものであり、あくまで参考情報として提供されるものです。その記載内容及び当該製品自体が日本国外の法規に適合していることを保証するものではありません。
- ・多言語製品情報は、提供者（又は当社）による仮訳であり、今後、予告なしに修正・変更される可能性があります。
- ・多言語製品情報の記載内容に起因して発生した問題については、提供者（又は当社）は一切の責任を負いかねます。